



第25回 7月21日の授業内容

- § 8. 線形モデル
 - § 8.1 線形回帰モデル

7/21/09

1



§ 8.1 線形回帰モデル

- 因果関係の分析モデル
 - 気温の上昇 ⇒ 清涼飲料水(ビール類)の消費上昇という関係をモデル化することを考えよう。
 - 気温 T_i , 消費量 C_i として、

$$C_i = \beta_0 + \beta_1 T_i + u_i \quad (i=1, \dots, n)$$
 というモデルを考える。ここで u_i は $E(u_i) = 0, \text{Var}(u_i) = \omega^2 < +\infty$ である確率変数とする。

7/21/09

2



§ 8.1 線形回帰モデル(2)

- $C_i = \beta_0 + \beta_1 T_i + u_i \quad (i=1, \dots, n)$ というモデルは、消費量 C_i を気温 T_i の1次関数で表したものに誤差 u_i を加えたもの。



線形モデル (Linear Model)
二標本問題もこのクラスに含まれる
便利なモデル

7/21/09

3



§ 8.1 線形回帰モデル(3)

- C_i の期待値と条件付期待値
 - C_i の期待値

$$E(C_i) = \beta_0 + \beta_1 E(T_i) + E(u_i) = \beta_0 + \beta_1 E(T_i)$$
 - T_i を条件としたときの C_i の条件付期待値

$$E(C_i | T_i) = \beta_0 + \beta_1 T_i + E(u_i | T_i) = \beta_0 + \beta_1 T_i$$

$E(u_i | T_i) = E(u_i) = 0,$
 $\text{Var}(u_i | T_i) = \text{Var}(u_i) = \omega^2$
という仮定をおく

7/21/09

4



§ 8.1 線形回帰モデル(4)

- 線形回帰モデルの推定(1)
 - $E(u_i | T_i) = E(u_i) = 0$ という仮定より、 $E(u_i T_i) = 0$
 $\text{Cov}(u_i, T_i) = \text{Cov}(C_i, T_i) - \beta_1 \text{Var}(T_i) = 0$

よって
$$\hat{\beta}_1 = \frac{\text{Cov}(C_i, T_i)}{\text{Var}(T_i)}$$

モーメント法推定量(Method of Moment Estimator)

7/21/09

5



§ 8.1 線形回帰モデル(5)

- 線形回帰モデルの推定(2)
 - (T_n, C_n) のデータから、 β_0, β_1 (そして ω^2) を推定
 - ↓
 - 最小2乗法 Ordinary Least Squares: 誤差 u_i の2乗和を最小にする β_0, β_1

$$\hat{\beta}_1 = \frac{\sum_{i=1}^n (C_i - \bar{C}_n)(T_i - \bar{T}_n)}{\sum_{i=1}^n (T_i - \bar{T}_n)^2}, \quad \hat{\beta}_0 = \bar{C}_n - \hat{\beta}_1 \bar{T}_n$$

7/21/09

6



7/21授業中訂正スライド

§ 8.1 線形回帰モデル(6)

□ 最小2乗推定量の性質

- $\hat{\beta}_1$ は、 u_i に関する古典的仮定の下で、不偏性、一致性、効率性をもつ。

□ 最小2乗推定量の分布

- $u_i \sim N(0, \sigma^2)$ のとき、

$$\tau = \frac{\hat{\beta}_1 - \beta_1}{\sqrt{\hat{\text{Var}}(\hat{\beta}_1)}} \rightarrow t(n-2)$$

- u_i の分布が未知のとき、 $n \rightarrow \infty$ のときCLTから

$$\tau = \frac{\hat{\beta}_1 - \beta_1}{\sqrt{\hat{\text{Var}}(\hat{\beta}_1)}} \rightarrow N(0,1)$$

7/21/09

7



7/21授業中訂正スライド

§ 8.1 線形回帰モデル(7)

□ 最小2乗推定量の分散

$$\text{Var}(\hat{\beta}_1) = \frac{\sigma^2}{\sum_{i=1}^n (T_i - \bar{T}_n)^2}$$

- σ^2 が未知のとき、

$$\hat{\text{Var}}(\hat{\beta}_1) = \frac{\hat{\sigma}^2}{\sum_{i=1}^n (T_i - \bar{T}_n)^2},$$

$$\text{where } \hat{\sigma}^2 = \frac{1}{n-2} \sum_{i=1}^n \hat{u}_i^2 \text{ and } \hat{u}_i = C_i - \hat{\beta}_0 - \hat{\beta}_1 T_i$$

7/21/09

8



§ 8.1 線形回帰モデル(8)

□ β_1 についての仮説検定

- $\begin{cases} H_0: \beta_1 = 0 \\ H_1: \beta_1 \neq 0 \end{cases}$

- u_i の分布にもとづいて検定統計量 τ の分布を導出。

7/21/09

9